

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

島根県 出雲市

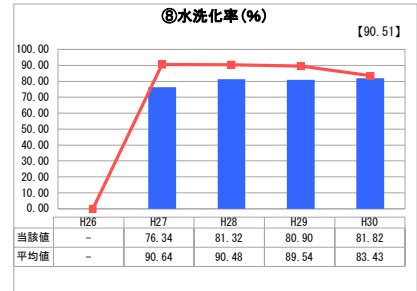
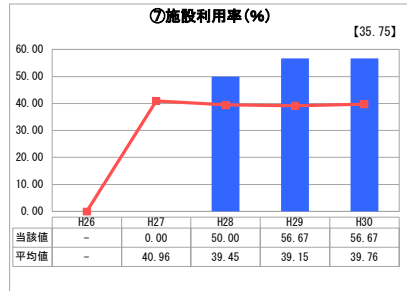
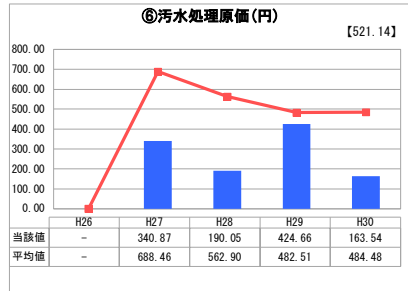
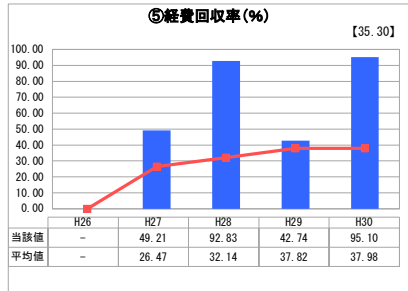
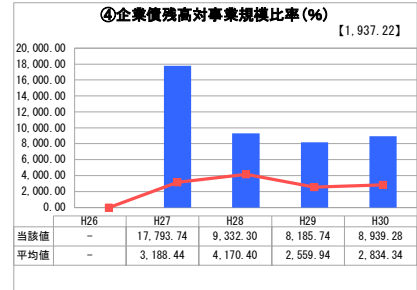
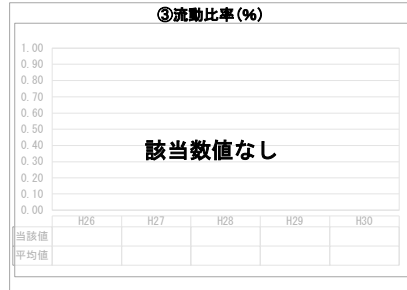
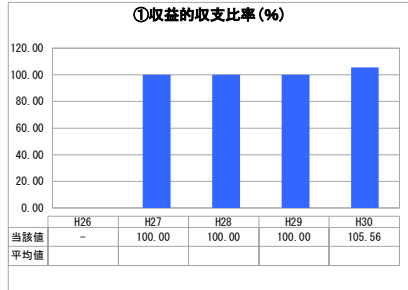
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.05	100.00	3,291

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
175,790	624.36	281.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
88	0.01	8,800.00

**グラフ凡例**

- 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本市の小規模集合排水処理事業は、平成27年度に供用開始した1地区のみであり、会計は、農業集落及び漁業集落排水事業と同一の会計で行っている。経営状況は他の集落排水事業と同様、自主財源により維持管理経費を賄う事ができず、市債元利償還金をあわせた収支不足額を一般会計繰入金により、例年、実質収支を均衡としているが、令和元年度から公営企業会計に移行したため、平成30年度は打切り決算となり、実質収支は黒字となっている。

①近年、収益的収支比率は100%であるが、上記のとおり収支不足額については、一般会計繰入金により措置されている。打切り決算に伴い、総費用及び地方債償還金が減となったため、105.56%となっている。

④企業債残高対事業規模比率は、料金収入等、営業収益の増により改善をしているが、事業完了後間もないため市債償還残高が大きく、類似団体平均には及ばない状況である。なお、打切り決算に伴い、営業収益が減となったため、昨年度から増となっている。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価は、昨年度から施設修繕費が減少した事により、数値は改善している。

⑧水洗化率は、処理区域内人口が微減となったため、昨年度から0.92ポイント上昇している。

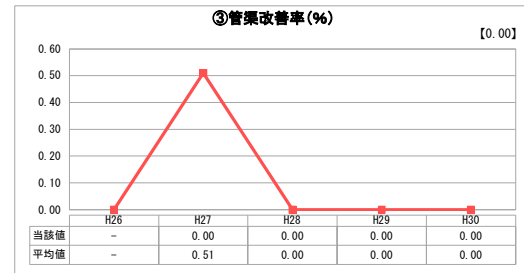
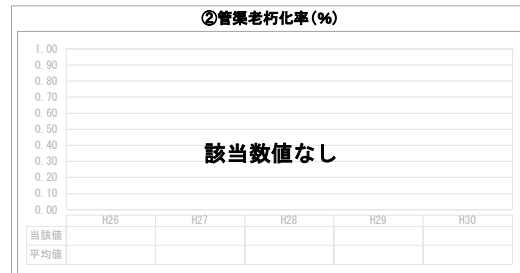
引き続き接続促進に努め、未接続の解消に努めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成27年度に供用開始した施設であり、老朽化はしていない。

ただし、今後の効率的な施設運営、更新コストの抑制、平準化に向けた施設の維持・更新計画を作成するなど、対策を講じておく必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本市の小規模集合排水処理事業は、現在の1地区のみで、今後新たな建設は計画されていない。

維持管理主体の事業となっているが、事業規模が小さいため、本事業単独での収支改善は限界があり、他の集落排水事業等と一体での経営改善が必要となっている。

また、小規模集合排水処理事業は令和元年度に公営企業会計に移行した。

移行後は、財政状況や経営状況の的確な把握に努め、経営改善を図っていく予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。